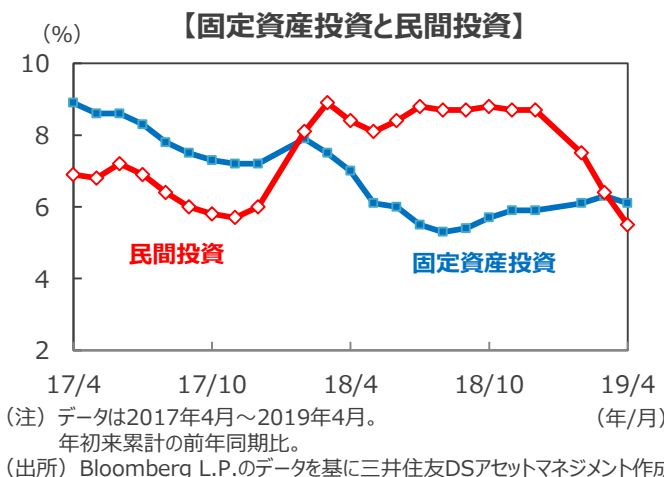
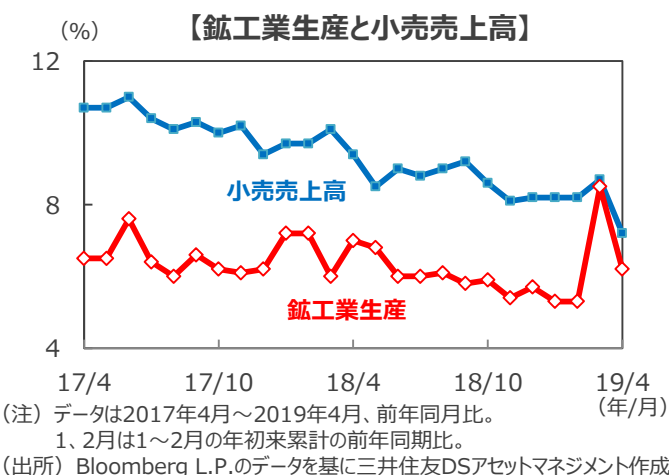


今日のトピック 減速感が強まった中国経済（2019年5月）
米中貿易摩擦が激化するなか、米中協議の進展に期待
ポイント1 固定資産投資は減速
民間投資の伸びが鈍化

- 中国国家统计局は15日、主要経済指標を発表しました。1～4月の固定資産投資は前年同期比+6.1%と市場予想の同+6.3%を下回り、1～3月（同+6.3%）から減速しました。
- 固定資産投資の内訳をみると、約6割を占める民間投資が同+5.5%と、1～3月（同+6.4%）から伸びが鈍化しました。一方、インフラ投資は同+4.4%と1～3月から横ばいでした。


ポイント2 鉱工業生産は大幅鈍化
小売売上高も大きく減速

- 4月の鉱工業生産は前年同月比+5.4%と市場予想の同+6.5%を下回り、3月（同+8.5%）から伸び率が大幅に鈍化しました。4月の増値税引き下げに先駆けた生産増がみられた3月からの反動が出たものと考えられます。
- 4月の小売売上高も前年同月比+7.2%と、市場予想の+8.6%を下回り、3月（同+8.7%）から大きく減速しました。4月は休日数数が前年より少なかったことも影響したとみられます。


今後の展開 米中貿易摩擦が激化するなか、米中協議の進展に期待

- トランプ米政権は10日、2,000億米ドル分の中国製品への追加関税を10%から25%へ引き上げました。これに対し、中国は13日、報復措置を打ち出しました。さらに、米国は13日、中国からの輸入品約3,000億米ドル分に課す制裁関税「第4弾」を公表するなど、米中関税合戦は激化しています。
- 足元の経済指標が減速するなか、米中貿易摩擦がこのまま継続すれば、景気に下押し圧力がかかることは避けられません。このため、中国政府は景気対策を総動員し、景気失速を回避させるとみられます。今後、両国が歩み寄る可能性があり、米中首脳会談の実現など米中協議が進展することが期待されます。

**ここも
チェック!**
2019年5月14日 運用者の視点：『上海モーターショー』
2019年5月 9日 アジア・マーケット・マンスリー（2019年5月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。